

志賀原子力発電所1号機 残留熱除去系配管からの水漏れの原因と対策について

平成20年4月30日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所1号機 残留熱除去系^{※1}配管からの水漏れの原因と対策について取りまとめましたので、お知らせいたします。

志賀原子力発電所1号機は、第11回定期検査中、4月25日、残留熱除去ポンプ(A)炉水入口弁の開閉試験を行ったところ、残留熱除去ポンプ(A)分解点検に伴う配管の開口部から、作業のために設置していた養生シート上に水が漏えいしました。(同日お知らせ済み)

【原因】

- ・ 残留熱除去系(A)の系統の水抜き後、炉水入口弁の上流側の燃料プール冷却浄化系^{※2}につながる弁に微小なシートリーク^{※3}があったため。
- ・ 炉水入口弁の開閉試験を行うまでの9日間、上記のシートリークにより、水が配管内に徐々に溜まり、その状態で炉水入口弁を開けたため。

【対策】

- ・ シートリークしている弁を修理する。
- ・ 水抜き後は、ドレン弁^{※4}を開けて排水ルートを確認し、水が溜まらないようにする。
- ・ 点検等のため弁を閉めた後に弁の開閉試験を行う場合は、溜まり水がないことを確認の上実施する。

以上

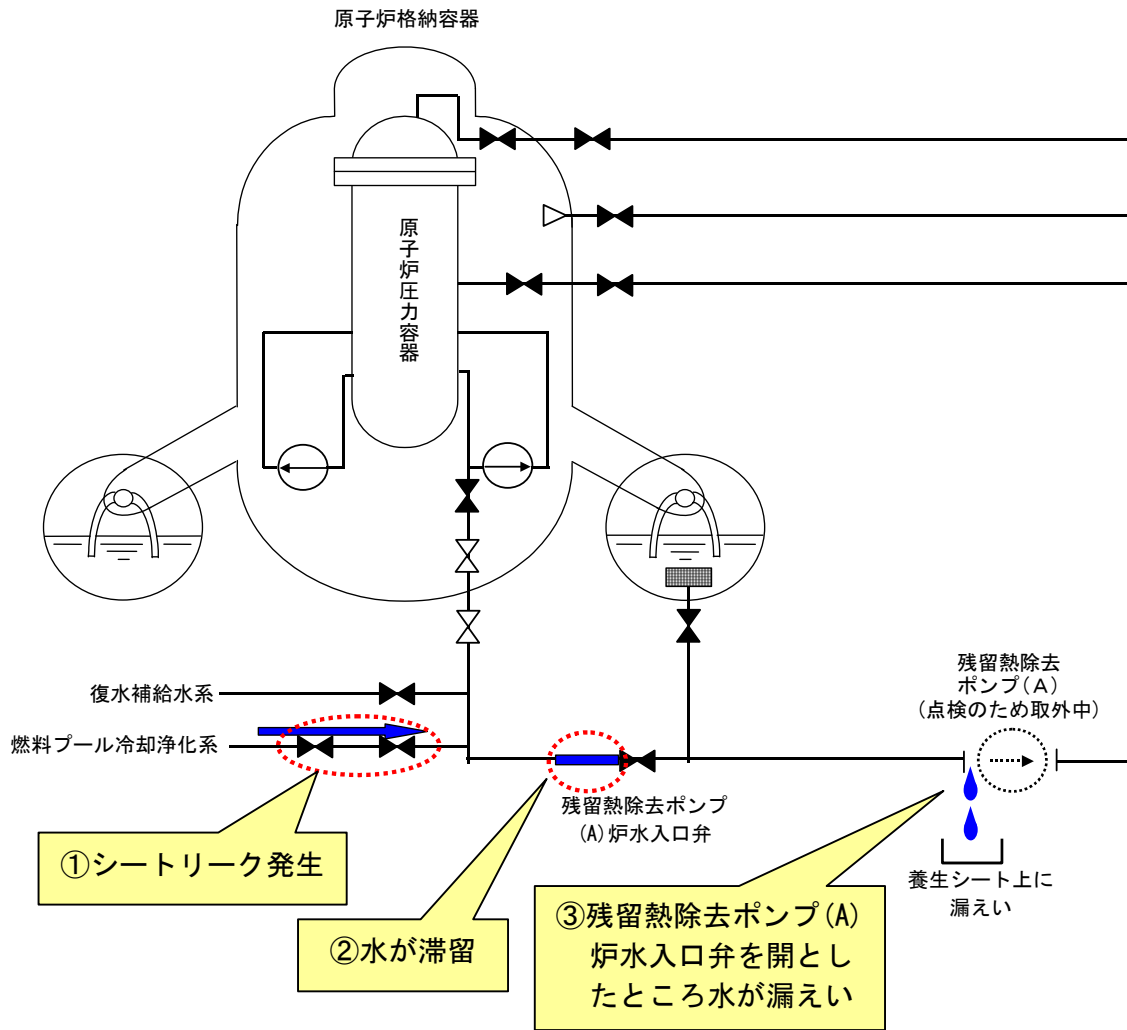
添付資料：「残留熱除去系(A)概要図」

※1 残留熱除去系： 原子炉停止後、水を巡回させて原子炉を冷却するための系統

※2 燃料プール冷却浄化系： 使用済燃料貯蔵プールの水を冷却浄化する系統

※3 シートリーク： 弁の密封性の低下による水の漏えい

※4 ドレン弁： 系統内の水等を排水するための弁



残留熱除去系 (A) 概要図

